

▽ 上江洲 薫 准教授 UEZU, kaoru



所 属： 経済学部 地域環境政策学科  
 担当科目：沖縄の観光、都市経済論、都市環境論、観光経済論、  
 社会調査演習、経済地理、基礎演習、地域セミナー、  
 演習 I

学歴等のプロフィール

- ①【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

- ①1992年3月：立正大学文学部地理学科Ⅱ部卒業  
 1994年3月：年立正大学大学院文学研究科地理学専攻修士課程修了  
 1997年3月：立正大学大学院文学研究科地理学専攻博士課程単位取得退学
- ②博士（地理学）：立正大学
- ③日本地理学会、人文地理学会、経済地理学会、日本観光学会、日本観光研究学会、総合観光学会など
- ④ 2002年度、沖縄県やんばるの自然体験活動ガイドライン委員  
 沖縄県地域限定通訳案内士試験対策セミナー（2008年～）：講師

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法の実践例 1) 沖縄の観光	2010年9月～2月	2010年度の後期に、全学科対象の共通科目である「沖縄の観光」では、観光客の受け入れ側である観光地で展開される自然的・社会的・経済的な現象を総合的に検討し、観光地特有の問題・課題や観光地づくりについて概説すると共に、は観光事業者の担当者の講話も予定も行った。2010年度はリゾートウエディングを手がけるワタベウエディング株式会社の方に取り組み内容などを紹介していただき、その後、学生からの質問が積極的に行われた。
2) 都市環境論	2011年4月～8月	2011年度の前期に、地域環境政策学科を主に対象として行った本講義では、都市において発生する廃棄物、大気環境、水環境、エネルギー問題などを概

<p>3) 演習 I</p>	<p>2011 年 4 月～ 2012 年 2 月</p>	<p>説しその対策を説明した。また、野外実習で、那覇市の都市河川の水質等を学生と共に調査し、都市環境のマネジメントを考えた。</p> <p>地域環境政策学科の3年次を対象とした本ゼミでは、観光産業や金融業などを概説した書籍を輪読すると共に、夏休みの9月には2泊3日で石垣島に野外調査を行った。この調査では各グループ毎にテーマを設定し、調査した内容をまとめ、ゼミ生の前で当日の夜に発表を行った。その後その内容を報告書にまとめる。また、受講生が各自が企業を訪問し、環境保全活動などの聞き取り調査などを行っている。</p>
<p>4) 沖縄経済環境研究所</p>	<p>2011 年 2 月 25 日</p>	<p>地域住民を対象とした西表調査報告講演会において、沖縄経済環境研究所の研究プロジェクト「先島諸島における観光と環境に関する総合調査研究」での調査内容をおよび域外事例を報告した。</p>
<p>5) 公開講座</p>	<p>2010 年 6 月 26 日</p>	<p>沖縄国際大学 2010 年度公開講座・うまんちゅ定例講座において、オーストラリアや沖縄を事例に、「持続可能な観光と環境保全」を題目に公開講座を行った。</p>
<p>2. 作成した教科書</p>		
<p>1) 日本の地誌</p>	<p>2007 年</p>	<p>同書は地理学科や教職受講者を向けの教科書として作成された。一部を担当した。</p>
<p>2) レジャーの空間</p>	<p>2009 年</p>	<p>同書はレジャーを初めて学ぶ学生を向けの教科書である。一部を担当した。</p>
<p>3. 学生支援活動</p>		
<p>1) 学習支援</p>	<p>2008 年～</p>	<p>オフィスアワーでの履修指導や学習不審者への支援など</p>
<p>2) サークル活動</p>	<p>2008 年～</p>	<p>サークル「フットサル」の顧問。</p>
<p>4. 学外での教育活動</p>		
<p>1) 琉球大学での非常勤教員</p>	<p>1998 年 4 月～ 2008 年 3 月</p>	<p>「観光地理学」「地域情報学特論」など地理学系を担当。</p>
<p>2) セミナー講師</p>	<p>2008 年～</p>	<p>沖縄県地域限定通訳案内士試験対策セミナーにおいて、「沖縄の地理」を担当。</p>

5. 教育改善活動 1)MT	2011 年 4 月	1 年次対象のメンバーシップトレーニング（1 泊 2 日）の担当。
-------------------	------------	-----------------------------------

## 研究業績等

### 【 主要論文及び主要著書 】

#### ●論文

- ・上江洲薫(2010)「沖縄県金武町・東村におけるエコツーリズムによるコミュニティ・ビジネスの展開と波及構造」、沖縄国際大学経済学部経済論集、第 6 巻第 2 号、143-156.
- ・上江洲薫(2009)「沖縄県読谷村・本部町における観光開発の展開とその地域的影響」、沖縄国際大学経済論集、第 6 巻第 1 号、9-40.
- ・上江洲薫(2009)「済州特別自治道・珍島郡における観光特性と観光関連施設の分布」、南島文化(沖縄国際大学南島文化研究所)、第 31 号、119-134.
- ・上江洲薫(2006)「都市計画区域外における観光開発の展開と規制条例の制定 — 沖縄県座間味村・旧玉城村・旧知念村を事例に —」、沖縄地理、第7号、1-23.
- ・上江洲薫(2005)「観光開発に対する土地利用規制条例の制定と地域的インパクト— 沖縄県恩納村を事例として —」、地域研究(立正地理学会)、第 46 巻第1号、17-37.
- ・上江洲薫(2001)「観光地域における企業の土地所有と観光開発の展開 — 沖縄県恩納村を事例に —」、人文地理、第 53 巻第 5 号、57-70.
- ・上江洲薫・徐 皎(1996)「新潟県黒川村における地域振興策としての観光事業」、地域研究(立正地理学会)、第 36 巻第 2 号、61-68.
- ・上江洲薫(1996)「わが国における海水浴場の分布と地域性」、立正大学大学院年報、第 13 号、109-120.
- ・立正大学大学院野外研究グループ(1993)「龍泉洞および周辺地域の水文特性」、地域研究(立正地理学会)、第 34 巻第 1 号、23-29.
- ・上江洲薫(1993)「沖縄県恩納村における観光地域形成」、地域研究(立正地理学会)、第 33 巻第 2 号、39-47.

#### ●書籍

- ・上江洲薫 (2011) 「持続可能な観光と環境保全—オーストラリアと沖縄を事例に—」、沖縄国際大学公開講座委員会編『沖縄国際大学公開講座 20 地域と環境ありんくりん』、編集工房東洋企画.
- ・上江洲薫 (2011) 「沖縄における外国人観光客の動向と対応」、財団法人九州経済調査協会編『訪日外国人観光の新段階 2011 年版 九州経済白書』、財団法人九州経済調査協会.
- ・上江洲薫 (2010) 「沖縄のコミュニティ・ビジネスと観光振興」、大塚昌利編著『地域の諸相 地域が人を育て 人が地域を創る』、古今書院.
- ・上江洲薫 (2010) 「済州特別自治道・珍島郡の観光資源と観光関連産業」、沖縄国際大学南島文化研究所編『韓国・済州島と沖縄』、編集工房東洋企画.
- ・上江洲薫 (2009) 「沖縄における海水浴場の形成と観光開発」、神田孝治編『レジャーの空間——諸相とアプローチ』、ナカニシヤ出版.
- ・上江洲薫(2007)「南西諸島の諸地域」、立正大学地理学教室編『日本の地誌』、古今書院.
- ・上江洲薫(2004)「観光地域の展開」、井出策夫・澤田裕之編著『地域の視点』、文化書房博文社.
- ・上江洲薫(2003)「沖縄の観光・集客戦略」、財団法人九州経済調査協会編『新しい観光・集客戦略 2003 年版 九州経済白書』、財団法人九州経済調査協会.

**研究分野**

観光地振興、観光地運営、エコツーリズム、観光地理学

**【Eメール・ホームページ等】**

kuezu@okiu.ac.jp

平成 23 年 10 月 21 日現在